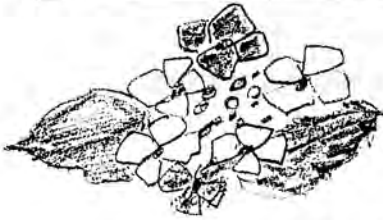




奈良・人と自然の会

〈わたしたちは大和の自然を愛します〉



通常総会を了えて

会長 川井 秀夫

風薫る5月14日。奈良市柏木町 防災救助センターにて、緊急救助法の修得講習に引き続き、平成十八年度の総会が開催されました。

出席者18名。例年の事ながら少し淋しい感は否めませんが、56名の会員の方々の委任を頂き、当会に対する信任票と受け止め、無事終了した事をご報告申し上げます。

今年度は幹事改選期に当たり、退任幹事4名の承認と、新任幹事4名が選任されました。退任の方々にはこれまでのご苦勞を謝し、今後もサポーターとしてご助力頂きたいと思っております。新任の方々には、幹事会の一翼として大いにご活躍を期待し、新風を注入して頂きたいものと考えております。

不肖私も、幹事諸氏から再任のご推挙を受け、老骨に鞭打ち、もう暫く頑張りたいと決意を新たにしております。よろしくご支援の程お願い申し上げます。

発足後、6年目を迎えます。曲折はありましたが、活動路線も定着し、社会的な存在感も十分ではありませんが形を整える様になってまいりました。

環境保全・自然保護に対する世論も顕在化しつつあり、森林環境税の導入、若手国会議員からの法制化を前提として、世界遺産、森林、里山、農業に対する支援活動が国策として始動するやに報道されております。

我々の小さな活動が、大きな流れを生む誘導要因として、価値あるものと信じ、更なる前進を図りたいと念じております。

今年度は3つのキーワードを考えました。

1つは言い古された事ですが【人の和】です。いかに立派な会・組織であっても、人が機能しなければ形骸化するだけです。またその人の不足を補完し合う、相互扶助も所詮人と人の連帯感から生まれます。

2つめは【創造する】です。常に挑戦の心を持ちたいと思っております。既成に捉われず、どしどし提案、意見を述べて下さい。ここは競争社会でも、縦社会でもありません。

3つめは【行動する】です。こうと思えば、勇気をもって行動して下さい。必ず何かを得る答えを見いだせる筈です。一つの行動は百の理論より勝ります。

引き続き、会員の皆様のご支援を切にお願い申し上げます。我々も紛れもなく高齢化社会の一員となりました。健康管理には充分ご留意下さい。ダンスではありませんがスロー、スロー、時にはクイック、クイックのリズムで楽しい活動になることを心掛けて行きたいと思っております。

第5回 奈良・人と自然の会 通常総会報告

平成18年5月14日 奈良県防災センター において 第5回通常総会が開催された。
司会進行の古川氏より、出席者18名、委任状56名 計74名により会の成立を宣言した。
総会議長に 西 健吉氏が推挙され 会長挨拶の後 総会の議題を順次審議した。

第一号議案 第5期の事業報告と会計収支報告、第2号議案 第6期事業予定収支予算案
いずれも承認された。

第3号議案役員任期満了に伴う選任の件

新任4氏 (明石嘉一郎、岩田利秋、小嶺利勝、林 玲子) 再任11氏が選出された。
新役員の互選協議ののち 会長 川井秀夫、副会長 豊嶋すみ子両氏が選任され総会に報告された。

その他

監査役 有本氏より会計決算の連続性について確認あり、予算案と会計処理について説明なされた。また川井会長より樋口前幹事へ 協力要請ありその処遇については幹事会で諮ることとした。

記録 阿部和生

安全講習会 の開催

場 所：奈良防災センター（奈良市八条五丁目404-1）

受講者：17名

講 師：奈良市消防署防災担当官2名

日 時：5月14日 12時30分～15時40分

救急車が来るまでの 応急手当講習を受講した。早い通報、早い応急手当、早い救急処置、早い医療処置という救命の連鎖を学び、模型人形による心配蘇生法や「AED」と呼ばれる電気ショックによる心肺蘇生法を体験した。人工呼吸、心臓マッサージ、応援の求め方、傷病者の手当てなど 事故への備えは 必須用件。日常いろいろな場面に適応できることが求められた。一同汗をかきながらも懸命に取り組み、終了証を手にした。



自然俳句欄

遠き日の腕白の子ら葱坊主 川井 秀夫

飛鳥路。整然とした小学生の列を見ていると、現代の腕白坊主はどこにいるのかなと、懐旧の念に思いを馳せました。

野辺の葱坊主に、イガグリ栗頭を擬態化してみました。





社会貢献事業への参加

行事名：「アースデー2006in なら」大和川クリーン作戦

日時・場所：4月23日奈良県第一浄化センター自由広場

催し物：出前教室（木工作体験コーナー）

[ブースで作った子供の数]①ドングリのコマ<78名>②紙トンボ<135名>③バードコール<102名>④ヨシ人形<69名>

参加スタッフ 10名：阿部（和）、岩田（和）、川勝（孝）、倉田（晃）、小嶺（敏）、齋藤（和）、坂口（正）樋口（善）、本郷（洋）、吉村（さ）

後記：今年も主催の「なら・コープ」から勧誘を受け、上記の如き内容で参加。イベント参加者総数460名余りとスタッフ10名。ほとんどの子供が工作を楽しんでくれた。また、別演目のステージショー「赤星たみ子ショー」・「大和川博士のクイズを混じえた川物語」等、余裕があれば手を休めて聞きたい内容のものであった。我々のブースも例年通り多忙を極めたが、多量、短時間と制限の中での子供との対応で「プレハブ方法」は成功したと自負している。ヨシ人形には女の子が集中し、解散後の人影がまばらになるまでねばられた。尚、今年も大阪シニア大学の研究課より材料の友情提供を受け感謝している。AM9時集合より14時30分の解散まで休憩なしの超多忙で対応のスタッフ諸氏のご苦勞に謝意を表し報告とします。

（文責 樋口善雄）



「なんじゃもんじゃ」の真贋

葉桜の頃になると、真白な細い紙切れのようなヒトツバタゴの開花期となる。気になる木である。

憲政記念館の休憩所の入口に、人間で言えば中肉中背といった風情のヒトツバタゴが二本ある。この下に「俗名なんじゃもんじゃ」と書いた小さい標識が立っているが、気になるのはその俗名にかかわるのである。

「なんじゃもんじゃ」とは関東地方で、その近辺に見られない巨木や珍しい大木を、樹種にかかわらずさしていう」と『日本国語大辞典』にあった。その続きに、有名なものとして、千葉県香取郡の神崎神社のクスノキ、神宮外苑のヒトツバタゴ、筑波山のアブラヤンがあげられている。国会前庭のヒトツバタ

ゴは、巨木でも大木でもないから「なんじゃもんじゃ」と言つのは「僭称」ということになる。

「植物学の父」といわれた牧野富太郎は『牧野植物随筆』の中で、「なんじゃもんじゃ」の真贋を論じ、神宮外苑のヒトツバタゴも、筑波山のアブラヤンもすべて偽ものと断じている。神崎神社のクスノキこそ真正銘の「なんじゃもんじゃ」であるというわけである。

三年ほど前の葉桜の頃、この本物を見にいった、なるほど、と思ったことがある。樹齢三百年、幹まわり八・五尺の巨木は、生命力を溢れさせていた。

九十五歳で死んだ「植物学の父」は、この活力こそ気に入ったのではないかと思った。（杜）

矢田丘陵を越える路

今仲 嶺雄

天気予報では70%以上の雨であったが、朝起きると薄日が差している。晴天に恵まれとまではいかないがまずまずの天気の中、勝田さんの案内で出発する。

ヒバリの声を聞きながら斑鳩の里の雰囲気を楽しみ、やがて山道に入る。谷筋の道をキセキレイが番で姿を見せ、ウグイスが鳴き、遠くでコジュケイ・キジの声も聞こえる。ピョーピョーと口笛のような声やし樹上にアオグラが姿を見せる。川筋ではクロコノマチョウが落ち葉と変わらぬ姿で止まっており「どこどこ」と皆でその擬態の姿を観察する。随所で藤の花が咲き、足下にはオドリコソウ・ホウチャクソウ・ギンランなどが咲き、ジャノメチョウ・ヒカゲチョウの仲間が樹間を飛ぶ。やがて坂を上り詰め下ると、三重塔が見え松尾寺に到着する。

松尾寺は、養老2年、天武天皇の皇子舎人親王が「日本書紀」編纂の成就を願って開創されたとか、歴史に弱い私ゆえ天武天皇・日本書紀と聞くだけで何故か緊張してしまう。小休止の後、杉・クヌギの林の中を歩き、松尾湿原を見学。勝田さんから頂いた資料を見ると、1957年の調査時にはハッチョウトンボ・ヒメアカネが生息していたとのこと、今は見る影もないが、周りを落葉広葉樹に囲まれ、密生したモウセンゴケに木漏れ日が降り注ぐ湿原に、ルビー色のハッチョウトンボが飛び交う姿を思い浮かべる。そんな光景はもう観ることが出来ないのだろうか。そんな思いを引きずりながら国見台展望台へ。眼下に大和盆地の眺望を楽しむ。天気予報があたり小雨がパラつきだし、木の下で昼食をとる。女性3名、男性3名で合コン？昼食会なるも食欲旺盛、談笑に終始する。

この後尾根道からはずれ、矢田寺への道を進む。林からキビタキの囀りが聞こえる。矢田寺のアジサイは蕾が顔を覗かせ、それなりに情緒のある姿を見せてくれる。満開のつつじの花にクロアゲハ・アゲハチョウ・クマバチなどが来て吸蜜している。矢田寺は「矢田山金剛山寺」が正式名で、天武天皇の勅願で開かれたとか。これまた歴史の重みを感じる。

里山の風景を楽しみながら東明寺へ。桐の大木が空一杯に花を咲かせる。落ちていた花からは微かな香りがする。楓の木々に囲まれた風情ある山門で、暫し寺開創の白鳳時代を偲ぶ。

オオルリの声が聞こえ、やがて子供の森の一角に入る。峠池ではカイツブリが縄張り争い、緊迫した場面に遭遇する。道を下り追分梅林・霊山寺に到着し解散する。矢田丘陵をほぼ完歩し白鳳～奈良時代の歴史の1ページを垣間見る楽しいコースでした。

解散後、雨も小雨なので竜田川添の道を富雄駅まで歩く。ベニシジミが雨で洗われた緑の草の中で輝き、ケリ・コサギ・パンなどが姿を見せ、遠くで鳴くオオヨシキリの声も聞こえる。合計31種の野鳥を観察できました。大変お世話をお掛けし有難うございました。



第13回近畿自然歩道・まほろばの路<矢田丘陵を越える路>行事報告

日程：5月10日(水) 曇り時々小雨

集合場所・時間：近鉄生駒線竜田川駅 9:00

コース：竜田川駅<9:40 出発>→椿井→白石畑→松尾寺→松尾湿原→展望台<11:30>

→矢田寺→東明寺→子供の森→霊山寺<14:30.>→近鉄富雄駅<15:10 着>

参加者：今仲・砂山・福谷・吉村・弓場(厚)・勝田(均) [下見]林

計7名

勝田担当

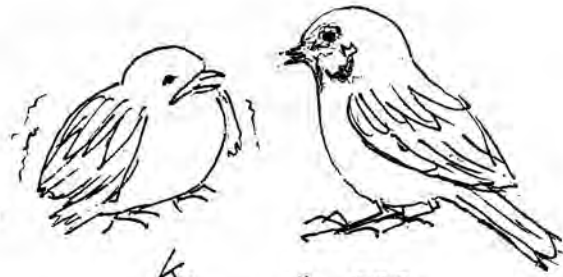
4月例会「幻の大仏鉄道をたずねて」のクイズ解答

1:「田んぼの中にあるエントツは何のために使われたか」2:「鹿背山には5羽のオオタカがいるがその巣はアカマツである。そのわけは」の2問だったと思うのですが。(竹の雌雄の識別方法は弓場さんが番外篇で出されていましたが) お答えは1:木津川から取水した農業用水の揚水トンネル空気抜きエントツ。2:卵を狙うアオダイショウ防御の為、アカマツの肌は滑って登りきれないので。

親になる鳥たち

小田 久美子

人類も遠い昔から、年頃になると男性は女性にアプローチしたくなり、時には自分の強さを誇示して見せたり、時に大枚はたいてプレゼントをしたり食事に誘ったり、時代により、人により手練手管の差はあっても、ドキドキ心ときめかせた青春時代の経験があ



く、スズメの親子

ると思いますが、鳥たちも人間と同じで、クジャクやカモなどのように美しさでアピールする鳥、カワラヒワやカワセミなどのように餌でアピールする鳥たちがいます。(謳うという裏技を持つ鳥も多いのですが) 一昨年の山の辺探鳥会ではモズのそれが見られましたね。家の近くでもスズメが求愛給餌をしているのがよく見られます。雄はマイ・ホームを用意していざ!!、雌は体を丸くして甘え声を出しながら口を開けてヒナのようなそれでいて色っぽい仕草をします。雄は頑張っって気にいられるようなプレゼントをせっせと運びます。が、それでも時には逃げられてしまいます。それも人間と同じ。 艱難辛苦の甲斐あってようやくゲットしたマイ・ホームの雌とヒナに又せっせと餌運び・・・、勿論共働きの鳥もいます。これ又人間と同じです。たまに、育児を担当するクレイマー・クレイマーさんもいて、これも又々人間界と同じようです。その後巣立ちしたばかりのヒナを連れてくる親はこの時期が一番大変です。なかに発育の遅れた末っ子やヤンチャで道草をするのがいたりすると、カラスやタカそして人間界に近づけば犬やネコ、時には人間までもがヒナの敵になります。親は気の休まる間もありません。コチドリの親などはその時、片翼を伸ばして震わせながら、ヨタヨタと傷ついた鳥のように敵の前に現れます。犬やネコがヒナから目を移し自分に手が届く前にパッと飛び上がり、それを繰り返しているうちに敵が二度とヒナを見つけられない所まで引き付け、ころあいを見計らって一気に飛び去るのです。「親の鏡」のこれは擬傷と呼ばれ鳥の親たちによく見られる行為のようです。『愛と勇気と献身』は私たち人類の親がだんだん失いつつある、でもとても大切な行為。そんなにまでして命をかけて育て上げたヒナを、ある時期がくると親は冷酷とも思える程に完全に自分のテリトリーから追い出してしまいます。この『親離れ、子離れ』も今見習いたい私たちです。

地域情報

★5/14 朝7時ホトトギスが鳴きはじめました。家の西の裏山です。昨年より5日早いです。毎年いつ鳴くかと楽しみに待っています。1日中大きい声で盛んに鳴いていました。(齊藤)

★【斑鳩】/ツツドリの声(ポポ・ポポ)竜田公園で初めて聞きました

5/13~14イソヒヨドリがさえずっていました。5/22 ゴイサギが竜田川にいました。今年初認です5/21 ホトトギス初鳴き(昨年は5/20)



【奈良忍辱山森林整備作業】

- 〈場所〉 奈良忍辱山国有林 (淀川、木津川、白砂川の源流域)
(忍辱山円成寺駐車場) より徒歩10分
- 〈集合場所〉 国道369号線
忍辱山円成寺駐車場 (バス停 円成寺口と忍辱山円成寺の間)
- 〈日時〉 6月6日(火) 10時20分 第49回
6月25日(日) 9時20分 第50回
7月4日(火) 10時20分 第51回
7月29日(土) 9時20分 第52回
8月6日(日) 9時20分 第53回
8月22日(火) 10時20分 第54回
〈終了予定〉 午後3時頃
- 〈天候〉 午前6時 奈良県北西部に警報が出されている場合は中止いたします
- 〈交通〉 奈良交通バス
平日 [梅の郷月ヶ瀬温泉行き]
土・日・祝 [柳生行き]
- | | JR奈良駅⑥番乗り場 | 近鉄奈良駅④番乗り場 | 忍辱山円成寺 |
|----|------------|------------|--------|
| 日祝 | 8:26 | 8:29 | 9:02 |
| 平日 | 9:30 | 9:33 | 10:06 |
- 臨時バス お問い合わせ 奈良交通 ☎0742(20)3100
- 〈持ち物〉 ヘルメット(防災用)、手袋、スパッツ、鋸、防護眼鏡、弁当、飲み物
ヘルメット、防護眼鏡、鋸等の用具は当会にて多少は用意しております
- 《未経験者には基本より指導いたしますのでお気軽に。森林を楽しみましょう。》
- 〈連絡先〉 弓場厚次
阿部和生
寺田正博

【行事報告】

4月29日(祝) 曇

〔参加者〕 中畑、小森、明石、弓場、阿部、寺田、以上 6名。

5月9日(火) 曇のち晴

〔参加者〕 小森、中畑、明石、新谷均(初参加)、竹本(V)、弓場、阿部、寺田
以上 8名。

約3/4の整備作業が終了したと思われ、残りの部分の間伐木にテープ巻を行なう。作業中は汗ばむようになってきた。

5月21日(日) 晴

〔参加者〕 川井、明石、竹本(V)、弓場、阿部。以上 5名。

無事 作業は進行しています。皆様のご参加をお待ちしております。

6月度例会 「宇陀・伊那佐山」

- [日時] : 6月4日(日)
[集合] : 近鉄大阪線 榛原駅 南口 バス停 午前9時
[交通] : 西大寺7:57(急行) 8:18八木(乗換) 8:34(急行) 榛原8:47着
近鉄難波7:47(準急) 7:52鶴橋(乗換) 7:55(急行) 榛原8:47着
* 奈良交通バス 榛原駅 9:15発 大又行きに乗車
[コース] : 八た鳥神社…竹橋…山の神…伊那佐山…宇太水分神社…墨坂神社…近鉄榛原駅
[持ち物] : 弁当, 飲み物, 観察用具, 雨具など
[担当] : 弓場 厚次

第14回近畿自然歩道・まほろばの路

生駒山眺望の路

日時 6月21日(水)

集合 場所 近鉄生駒駅北側奈良交通バス停1番 時刻 9時25分 なら交通バス出店下車
難波8時51分発 生駒9時11分着 (快速急行)

コース

概要 生駒市南田原の田園地帯から静かな雑木林の中を登り、県境の稜線をこえて大阪府側の近鉄石切駅へ下山するコース。喜里池を過ぎ、阪奈道路の上を渡るとコナラやリョウブの林の中を除々に高度をかせいで行く。中腹には、生駒山麓公園が整備されている。稜線に出ると、信貴生駒スカイラインの下をくぐり、大阪府側へ出て、整備された生駒縦走歩道をたどり、府民の森くさか園地、ぬかた園地を経て興法寺から辻子谷を石切へ向かって下りてゆく。

担当 境 寛

<7月の予定>

第15回近畿自然歩道・まほろばの路

(くろんど池を訪ねる路)

- [日時] : 7月6日(木)
[集合] : 近鉄奈良線富雄駅 南側 バス停 午前9:30
* 交通:奈良交通バス 午前9:37<傍示行>乗車予定
[コース] :高山竹林公園→くろんど池→京阪交野線私市駅
[持ち物] :弁当、飲み物、雨具、観察用具など
[担当] :大寺 道代

7月例会 「天神山・与喜山暖帯林」

[日程] 7月26日(水) *詳細は会報第54号<7月号>でお知らせします。

[担当] 古川 祐司

協力活動「いこま棚田クラブ」6月, 7月活動日 ご案内

活動日…6/4(日) 6/12(月), 6/18(日), 6/26(月)

6/11(日) 生駒市子ども会リーダー研修

田植え、枝豆の播種、ジャガイモほり、サツマイモ苗植え、コスモス播種

竹炭窯挑戦、地元との協働草刈 など

7/2(日) 7/10(月) 7/16(日) 7/24(月) 7/30(日)

“棚田は、あなたを待っています！”

集合場所：近鉄生駒駅下車 南口側ケーブル駅西隣セブンイレブン前

集合時間：9時 現地までタクシー他 分乗で移動

持物：弁当、飲み物、作業スタイル

事務局：大寺道代

平成18年度5月定例幹事会議事録

日時：5月5日 場所：奈良県女性センター出席者：10名、司会：境 書記：古川
「報告事項」

- (1) 会員数：79名 現金残高：207,921円
- (2) 4月例会 「幻の大仏鉄道遺構を訪ねて」 参加者26名 詳細は会報ご参照
- (3) 近畿自然歩道・まほろばの路「信貴山を巡る路」参加者7名 詳細は会報ご参照
- (4) 奈良・忍辱山森林整備作業 4月5日は降雨のため中止 4月29日参加者6名
- (5) アースデー2006 in なら 4月23日県環境浄化センターにて参加者数400人
当会の木工作は好評（特にヨシ人形に人気）約200人が楽しむ。
- (6) いこま棚田クラブ
竹炭窯を設置。棚田・里山再生活動への関心を喚起し参加者の増強を図る。
- (7) 全労災環境活力助成金：森林整備事業を対象に28万円の助成を申請。
ならコープの助成金：今年度も申請の予定。5月20日の活動報告会に参加する予定

「討議事項」

- (1) 第5回通常総会に関する纏め 総会資料を精査検討した承。
- (2) 5～7月の定例行事等の確認

例会	5月24日	「蜻蛉の滝から吉野・青根ヶ峰へ」	詳細は会報ご参照
	6月4日	「宇陀・伊那佐山」	詳細は会報ご参照
	7月26日	「長谷・天神山 与喜山暖帯林」	詳細未定

近畿自然歩道・まほろばの路

	5月10日	第13回 「矢田丘陵を越える路」	詳細は会報ご参照。
	6月21日	第14回 「生駒山眺望の路」	詳細は会報ご参照
	7月6日	第15回 「くろんど池を訪ねる路」	詳細未定

その他 「くろかみやま自然塾」

5月28日 「ようこそ自然塾へ 自然を食べる」 60名の参加予定

今後の予定：7月23日樹木の観察 9月24日自然工作 11月26日リース作り

編集後記

新しい幹事を加えた体制でスタートしました。みなさんのご協力をお願いいたします。なお、大寺道代、小山直方、樋口善雄、三木正明4氏が任期満了で退任表明された。幹事として会の発展にご尽力頂き有難うございました。これからも会員としてのご指導ご協力よろしくお願いします。紙面を借りまして感謝申し上げます。 役員一同

編集担当：勝田 均

Tel&F:

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫